

HA13440MP

Three-phase Brushless DC Motor Driver for FDD

HA13440MPは、FDDスピンドルモータドライブ用に開発した、出力電流1.0A/相の3相ブラシレスDCモータドライブICで、以下に示す機能、特長を有しています。

■機能

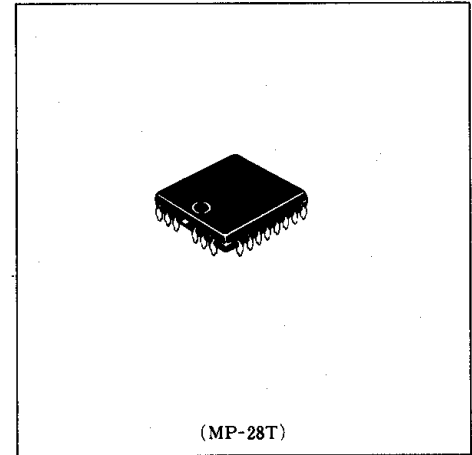
- 1.0A 3相出力回路
- ホールアンプ、マトリクス
- 制御アンプ（電流制御）
- 正逆切換回路（ディレクション）
- FGアンプ、ゼロクロスデテクタ
- 発振回路
- 速度デスクリミネータ
- 300/360rpm切換回路
- 積分アンプ
- カレントリミッタ
- 温度保護回路OTSD
- チップイネーブル

■特長

- 1チップモータドライブIC
- デジタル制御に付き初期調整不要。
- 5V使用可能（動作電圧範囲4.25~13.8V）
- 低消費電流
- 小形低熱抵抗面実装パッケージ

■真理値表

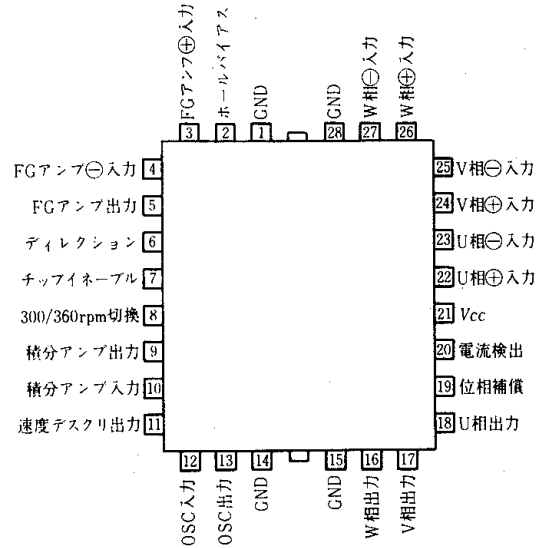
チップイネーブル CE	正反転 DIR	ホールアンプ入力						出力		
		U+	U-	V+	V-	W+	W-	U	V	W
L	L	H	L	L	H	H	L	H	L	Open
		H	L	L	H	L	H	H	Open	L
		H	L	H	L	L	H	Open	H	L
		L	H	H	L	L	H	L	H	Open
		L	H	H	L	H	L	L	Open	H
		L	H	L	H	H	L	Open	L	H
	H	H	L	L	H	H	L	L	H	Open
		H	L	L	H	L	H	L	Open	H
		H	L	H	L	L	H	Open	L	H
		L	H	H	L	L	H	H	L	Open
		L	H	H	L	H	L	H	Open	L
		L	H	L	H	H	L	Open	H	L
H	×	×	×	×	×	×	×	Open	Open	Open



(MP-28T)

■ピン配置

●MP-28T



(上面図)

■絶対最大定格 ($T_a=25^\circ\text{C}$)

項目	記号	定 格	単 位	注
電 源 電 圧	V_{CC}	+15	V	1
瞬 時 出 力 電 流	I_{OP}	1.0	A	2
定 常 出 力 電 流	I_O	0.7	A	—
入 力 電 圧	V_{in}	$0 \sim V_{CC}$	V	3
許 容 損 失	P_T	2	W	4
接 合 部 温 度	T_j	150	$^\circ\text{C}$	5
保 存 温 度 範 囲	T_{stg}	$-55 \sim +125$	$^\circ\text{C}$	—

注)

- 動作電圧範囲は以下のとおり。
 $V_{CC}=4.25 \sim 13.8\text{V}$
- $t \leq 0.5\text{s}$
- チップイネーブル $\overline{\text{CE}}$ 、ディレクションDIR、モードセレクトMS端子に適用する。
- T_{stg} は1, 14, 15&28=100 $^\circ\text{C}$ での値です。ただし、熱抵抗は以下のとおり。
 $\theta_{j-pin} \leq 25^\circ\text{C/W}$
 $\theta_{j-a} \leq 55^\circ\text{C/W}$ (メタルベース基板使用の場合)
 $\theta_{j-a} \leq 80^\circ\text{C/W}$ (ガラスエポキシ基板使用の場合)
- 動作接合温度範囲は以下のとおり。
 $T_{jopr} = 0 \sim +125^\circ\text{C}$

■電気的特性 ($T_a=25^\circ\text{C}$, $V_{CC}=4.25 \sim 13.8\text{V}$)

項目	記号	測定条件	min.	typ.	max.	単 位	適用端子	注	
消 費 電 流	I_{Q1}	CE=2V	—	0.15	0.5	mA	20, 21	1	
	I_{Q2}	CE=0.8V, R_L =OPEN	—	15	23	mA		1	
入 力 ロ ウ 電 圧	V_{IL}	—	—	—	0.8	V	6, 7, 8		
入 力 ハ イ 電 圧	V_{IH}	—	2.0	—	V_{CC}	V			
入 力 ロ ウ 電 流	I_{IL}	$V_{IL}=0\text{V}$	—	—	± 10	μA			
入 力 ハ イ 電 流	I_{IH}	$V_{IH}=2.0\text{V}$	—	—	± 10	μA			
ホ ール ア ン プ	入 力 電 流	I_{HB}	$V_H=2\text{V}$	—	—	± 10	μA	22~27	
	同相入力電圧範囲	V_H	—	1.5	—	$V_{CC}-1.0$	V		
	差動入力電圧範囲	U_H	—	70	—	200	mVp-p		
ホ ール バ イ ア ス	出 力 電 圧	V_{HB}	CE=0.8V, $I_J=5\text{mA}$	1.2	1.6	2.0	V	2	
	リ ー ク 電 流	I_{HOFF}	CE=2V, $V_{CE}=15\text{V}$	—	—	± 10	μA		
出 力 ア ン プ	リ ー ク 電 流	I_{CER}	CE=2V, $V_{CE}=15\text{V}$	—	—	100	μA	16, 17, 18	
	飽 和 電 圧	V_{sat}	$I_O=0.7\text{A}$	—	1.3	1.8	V		2
			$I_O=0.35\text{A}$	—	1.0	1.2	V	2	
カレントリミッタ基準電圧	V_{ref1}	$R_{NF}=1\Omega$	0.225	0.25	0.275	V	20	3	
制 御 ア ン プ	基 準 電 圧	V_{ref2}	—	$0.9V_{CC}/2$	$V_{CC}/2$	$1.1V_{CC}/2$	V	10	4
	電 圧 利 得	G_{CTL}	—	-12	-10	-8	dB	16, 17, 18	
	電 圧 利 得 差	ΔG_{CTL}	—	—	—	± 1.0	dB		
積 分 ア ン プ	入 力 電 流	I_{B1}	—	—	—	± 50	nA	10	
	出 力 電 圧 振 幅	A^+	$I_S=-0.5\text{mA}$	0.62	0.72	0.82	V	9	5
		A^-	$I_S=0.5\text{mA}$	-1.64	-1.44	-1.22	V		5
利 得 帯 域 幅	BW_D	$G_V=0\text{dB}$	100	300	1,000	kHz			
速 度 デ イ ス ク リ ミ ネ ー タ	出 力 ハ イ 電 圧	V_{DOH}	$I_{I1}=0.5\text{mA}$	$V_{CC}-0.3$	—	—	V	11	
	出 力 ロ ウ 電 圧	V_{DOL}	$I_{I1}=-0.5\text{mA}$	—	—	0.3	V		
	出 力 遮 断 電 流	I_{DOFF}	$V=2.5\text{V}$	—	—	± 50	nA		
	動 作 周 波 数	f_D	—	—	—	1,000	kHz		
	カ ウ ン ト 数	N_D	—	—	—	1,024	—		
O S C	発 振 周 波 数 範 囲	f_{osc}	—	—	—	1,000	kHz	13	
	発 振 周 波 数 誤 差	Δf_{osc}	492kHzセラミック発振子	—	—	± 0.2	%		
F G ア ン プ	電 圧 利 得	G_{FG}	—	39	41	43	dB	5	
	利 得 帯 域 幅	BW_2	$C_{106}=0$, $G_{FG}=-3\text{dB}$	5	10	20	kHz		
	入 力 抵 抗	R_i	—	120	180	240	Ω	3	
	歪 率	T_{HD}	$V_{CC}=5\text{V}$, $v_o=1\text{Vrms}$	—	—	—	5	%	

(次頁へつづく)

項 目	記 号	測 定 条 件	min.	typ.	max.	単 位	適用端子	注
OTSD	動 作 温 度	T_{sd}	125	—	—	℃		
	ヒ ス テ リ シ ス	T_{hys}	—	25	—	℃		

- 注) 1. 仕様は、ピン20, 21の電流の和です。ただし、ホールバイアス電流は含みません。
 2. 仕様は、上下飽和電圧の和です。
 3. ()内は $V_{CC}=13.8V$ の仕様、他は $V_{CC}=4.25V$ での仕様です。
 4. ただし、 $V_{CC}>11.2V$ では、 $5.6V\pm 10\%$ です。
 5. V_{ref2} を基準とします。

■外付部品

部 品 No.	参 考 値		目 的 的	注
	5 V/3.5" FDD	12V/5.25" FDD		
$R_{102}, R_{103}, R_{104}$	4.7Ω	4.7Ω	安定用	—
R_{101}	330Ω	1.8kΩ	ホール素子バイアス	—
R_1	56k	56k	積分定数	—
R_2	150k	56k	積分定数	—
R_{NF}	0.62Ω	0.39Ω	電流検出	1
$C_{109}, C_{110}, C_{111}$	4.7μF	4.7μF	安定用	2
C_{101}	0.1μF	0.1μF	電源バイパス	3
C_{105}	10μF	10μF	FGアンプAC結合	—
C_{106}	4700pF	4700pF	FGアンプ帯域設定	—
C_{107}	47pF	47pF	発振器AC結合	—
C_{108}	0.1μF	0.1μF	制御アンプ位相補償	—
$C_{102}, C_{103}, C_{104}$	0.01μF	0.01μF	安定用	—
C_1	0.022μF	0.047μF	積分定数	5
C_2	0.22μF	0.47μF	積分定数	5
C_{114}	47pF	47pF	発振安定用	—
X'tal	492kHz	492kHz		4

- 注) 1. カレントリミッタは、次式で働きます。

$$I_{omax} = \frac{V_{ref2}}{R_{NF}}$$

2. 無極性のものをご使用ください。
 3. 出来るだけ、ICの近くに付けてください。
 4. 発振周波数 f_{osc} は、次式で決めてください。

(1) 300/360切換えが「H」のとき

$$f_{osc} = \frac{8,192}{6} f_{FG} \text{ (Hz)}$$

(2) 300/360切換えが「L」のとき

$$f_{osc} = \frac{8,192}{5} f_{FG} \text{ (Hz)}$$

5. 無極性でリーク電流の小さいものをご使用ください。